

親子で学ぶ防災教室

越前市花筐小学校

1 はじめに

日本各地で大規模な災害が発生している昨今、小学生にも自分の身を守る知識は必要なこととなっている。本校では、PTAの協力のもと、防災士ネットワークさばえと越前市防災士の会の会員約20名の方に来校していただき、「親子で学ぶ防災教室」を行った。

2 取組の概要

本校は、毎年2月の第1金曜日に、PTA主催の保護者学級が行われる。本年度は「親子で学ぶ防災教室」ということで、災害時に必要な知識を10のブースに分かれてワークショップ方式で防災士の方に教えていただいた。10のブースは、以下のものである。

- ① **防災かるた**…防災時の正しい行動を○×クイズにして学習した。
- ② **簡易スリッパ、マスク作成**…災害時に足を守るために古新聞を折ってできる、簡単なスリッパとキッチンペーパーを使ったマスクの作り方を学習した。
- ③ **てんとう君**…地震の時の家具の転倒を防ぐための工夫を、実物を見せてもらいながら学習した。
- ④ **しんどう君**…地震と時に起こる液状化現象を、砂と積み木を使ったモデルで学習した。
- ⑤ **非常持ち出し袋を作ろう**…非常持ち出し袋に入れておくとよいものを、実物を見ながらクイズ形式で学習した。
- ⑥ **まさか君**…車いすの使い方や乗り方、特に坂道の進み方を実際に車いすを動かしながら学習した。
- ⑦ **福井豪雨 DVD**…平成16年の福井豪雨の様子を、DVDを見ながら学習した。当時、今立でも大きな被害があったが、今の小学6年生も平成18年生まれである。児童は、生まれる前にあった大きな災害の様子を見て、驚いていた。
- ⑧ **簡易タンカ作成**…非常時に毛布や上着で作れる簡易タンカ作成について学習した。作ったタンカで実際に運ばれてみて、安定感があることに納得していた。

- ⑨ **かいりき君**…地震の時に、ダンス等に人が挟まれたとき、ジャッキを使って救助するやり方を、人形とジャッキを使って体験した。
- ⑩ **備蓄食品展示コーナー**…避難時に配られる備蓄食品の展示コーナーで、いろいろな種類の食品があることを学習した。

今回、防災士の方のご厚意で、児童は備蓄食品と防災笛をいただいた。家に持ち帰り、家族で非常時の際の行動等について話し合うことができた。



3 終わりに

災害は、いつ発生するか予測できない。子どもであっても、災害時には自分の身は自分で守らなければならない。今回、防災士の方にわかりやすく教えていただいたことで、児童は楽しく防災の知識を学習することができた。さらに、親子で学んだことで、家庭で非常時のことを話し合うよい機会となったと思われる。今後は、学校でも児童の防災意識を高めていくことが必要であり、今回防災士の方々に教えていただいたことをさらに活かしていきたいと考える。